

# Honda SENSING

2014年、Hondaは単眼カメラとミリ波レーダを使用した“Honda SENSING”を上市しました。以来、多くのモデルに搭載を進め、より多くのドライバーの安全・快適な移動のお手伝いをしています。

## システム構成

通常走行時から緊急時のリスク回避までの運転を支援

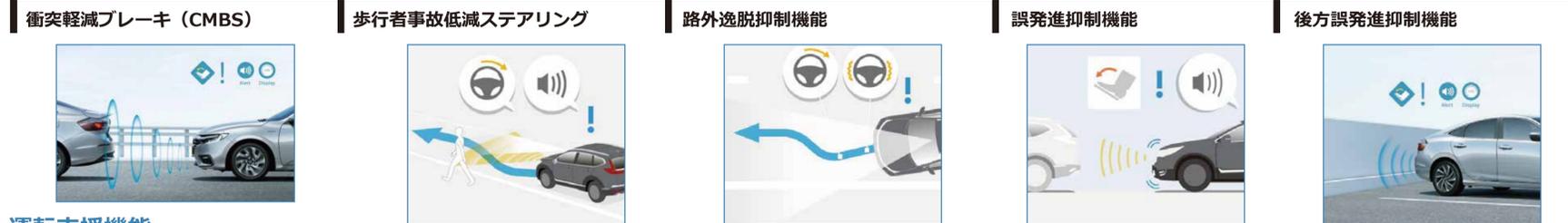


ミリ波レーダは、認識対象の距離・速度を計測することが得意である特性に加え、従来、反射量が小さく同センサでの検出が難しかった歩行者など、認識対象を拡大。カメラは、前方約60mの距離での対象の大きさや属性を、高い精度での認識を実現。

両センサの特性を組みあわせることにより、より多くの場面での運転支援を実現しました。

## 搭載機能

### 衝突被害軽減機能



### 運転支援機能



### 先行車進入検知機能付き ACC (iACC)



Traffic Jam Assist (2018年北米市場向けのAcura RLXより搭載)  
Traffic Jam Assistは、低速域での車線維持と前走車追従の支援を実現し、渋滞中のドライバーのストレスを軽減する。

## 車両の横方向・後方の安全を支援するシステム

### 横方向支援

#### ブラインドスポットインフォメーション

#### 動作イメージ

	車両検知なし	近接車両検知	ウィンカー操作 (車線変更)	斜め前方向車両
接近警告表示	消灯	点灯	点滅	消灯
接近警告音	なし	なし	ピピピ	なし

### 後方視界支援



Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。

